

講義名	地域ボランティア演習B		
科目区分	学科専門 展開		
担当教員	北村 裕美/関 和俊		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 1時限/後期 木曜日 2時限	授業形態	
履修開始年次	3年生	単位数	4
		備考	

主題と概要

本演習は、神戸市西区と本学との連携事業の一環として、実際に住民の健康づくり活動を展開していく科目である。地域住民を対象に健康講座を展開し、健康づくりを中心としたボランティア活動の企画・運営方法を学ぶとともに、これまでに学習してきた指導技術や接遇技術の向上を図る。また、対象者のニーズを理解し、エビデンスに基づいた資料の作成方法について学ぶ。将来、地域の活性化を担える人物の育成を目指す。

到達目標

①健康づくり活動の企画・運営ができるようになる。
 ②幅広い年齢層に応じた対話力や社会人としての態度を身につける。
 ③Word、Excelを用いて資料が作成できるようになる。

提出課題

振り返りレポート

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

実践演習ごとに個別で講評を行う。

評価の基準

取組状況・・・75%
 振り返りレポート・・・25%

履修にあたっての注意・助言他

①地域へ出向くことがあるため、欠席および遅刻は厳禁である。なお、遅刻(10分まで)2回で1回欠席とみなし、4回欠席で単位認定しない。
 ②地域（区民センター「最寄り駅：西神中央駅」）活動の際は、大学に集合した後公共交通機関を使用して移動する。交通費（1回460円、2～3回）は自己負担になることがある。
 ③本講義は、神戸市西区と本学との連携（インターンシップ）事業であるため、運動指導や保健事業に興味・関心ある者や「健康運動実践指導者」の取得を目指す者は履修を推奨する。

教科書
. 使用しない。

プリント資料及び参考文献

適宜、資料を配布する。

授業計画

1. プログラムの立案と作成（健康づくりプログラムの作成）
2. ストレッチ指導演習
3. リクリエーション指導演習
4. 筋力トレーニング指導演習
5. 対象者に合わせた資料作成
6. 実践演習①（地域における健康指導演習）
7. 実践演習②（地域における健康指導演習）
8. 実践演習③（地域における健康指導演習）
9. 実践演習④（地域における健康指導演習）
10. 実践演習⑤（地域における健康指導演習）
11. 実践演習⑥（地域における健康指導演習）
12. 実践演習⑦（健康講座運営）
13. 実践演習⑧（健康講座運営）
14. 実践演習⑨（健康講座運営）
15. 活動報告書の作成、振り返りとまとめ

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/>	ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="radio"/>	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/>	ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="radio"/>	エ：グループワーク
<input type="radio"/>	オ：プレゼンテーション
<input type="radio"/>	カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

<予習>
 毎回の指導担当が変わるため、各プログラムの指導のポイントを押さえ、それぞれのセリフを覚えておく。特にステージでの指導は対面となるため、動作の方向とセリフとの対応を理解しておく。
 <復習>
 教員からのコメント、参加者アンケートなどを参考にして指導の反省点をまとめ、出来なかった点および修正すべき点を抽出する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考